



報道関係者各位

2010年6月22日

記者発表会のご案内
旧富士山測候所 学術研究・教育利用の計画概要発表
～気象庁からの再借用決定、2010年度夏季観測・研究がスタート～

- 日 時：7月5日（月） 14:00～16:00 （受付：13:30～）
- 会 場：東京理科大学神楽坂キャンパス 森戸記念館

NPO 法人富士山測候所を活用する会
記者発表会事務局：東京理科大学

拝啓 貴社益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私共、NPO 法人富士山測候所を活用する会（代表者：畠山 史郎）は、2007年7月から3年間、気象庁から借用し研究・教育に活用してきた富士山特別地域気象観測所を、2010年7月以降の3年間も借り受けることが正式に決定いたしました。初年度にあたる今期の7月・8月には、公募で選定された21グループ、延べ約420名が、山頂において観測・研究を実施いたします。

1932年から約72年間にわたり気象観測が行われてきた富士山測候所は、気象衛星の発達などにより2004年に無人化されました。しかし、日本最高の独立峰である富士山の山頂に設けられた自然観測施設の利用価値は、様々な学問領域において非常に高く、富士山測候所を活用する会は、富士山測候所を学術研究・教育等の分野において広く開かれた施設として有効活用することを目的に活動を続けています。過去3年間の利用実績としては、大気化学、高所医学、宇宙線科学、永久凍土など、富士山頂でなければできない幅広い分野の研究観測に活用されただけでなく、富士山の特殊な環境を生かした環境教育・自然体験活動の拠点としても利用されてきました。

つきましては、本活動の第2ステージ開始にあたり、2010年度夏季観測・研究の計画概要に関する記者発表会を開催いたします。当日は、本会の理事長や理事より旧富士山測候所の研究・教育利用の内容等についてご説明させていただきます。

皆様、ご多忙中とは存じますが、記者発表会にご出席賜りますようお願い申し上げます。なお、誠に勝手ながら会場の準備の都合上、7月2日（金）までに出席のご都合を、別紙の返信用FAXにてご連絡いただければ幸甚です。

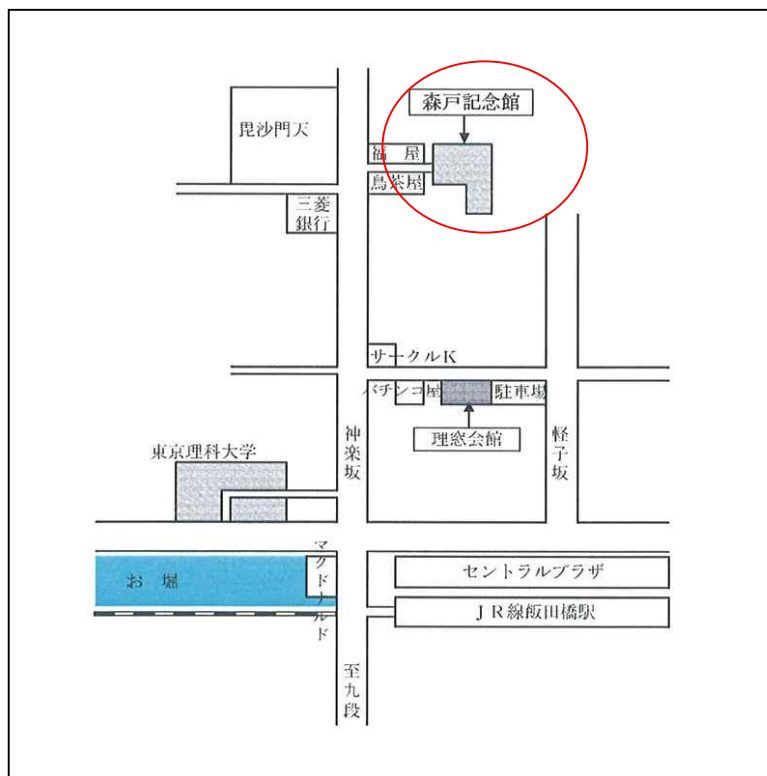
敬具

「旧富士山測候所 学術研究・教育利用計画」 記者発表会 実施概要

- 日 時： 2010年7月5日（月） 14:00～16:00 （受付：13:30～）
- 会 場： 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館2階第一会議室
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-2-2 TEL：03-5225-1033（1階受付）
- アクセス：地下鉄有楽町線、南北線B3出口 徒歩5分
JR飯田橋西口徒歩6分
- 当日プログラム：

ご挨拶	畠山 史朗（理事長・東京農工大学教授）
全体概要説明	渡辺 豊博（専務理事・NPO法人グラウンドワーク三島事務局長）
個別発表	三浦 和彦（理事・東京理科大学准教授）
	井出 里香（理事・東京都立大塚病院医長）
	畠山 史朗
質疑応答	

■会場地図



～本件に関するお問い合わせは先～
東京理科大学 科学技術交流センター（承認 TLO）
企画管理部門 担当：近藤
Tel: 03-5228-8090



記者発表会 ご出欠用紙
NPO 法人富士山測候を活用する会 事務局行

FAX 番号 03-5225-1265

諸準備の都合上、大変お手数ではございますが、下記要項をご記入のうえ、
2010年7月2日（金）までにFAXにてご返信くださいますようお願いいたします。

NPO 法人富士山測候所を活用する会 記者発表会

【日時】2010年7月5日（月）14:00～16:00

ご出席 ご欠席
(にチェックをお願いいたします)

貴社名/貴紙・誌名		
ご部署名		
ご出席者名	(計 _____ 名様)	
ご連絡先	TEL.	FAX.
通信欄	ご質問・ご要望がございましたらご記入下さい	